

動詞の形の変え方のコツ <ページ6>

(2) 「～するために」「～するための」という意味になる(なりそうな)時、to + 動詞の原形 を使う。

例題) I went to the library [study] math.

↓
この文は、「私は数学を勉強するために図書館に行った。」という意味になりそうなので、
to study とするのが正解。

解答) I went to the library [to study] math. 和訳: 私は数学を勉強するために図書館に行った。

例題) I want a book [read].

↓
この文は、「私は読むための本がほしい。」という意味になりそうなので、
to read とするのが正解。

解答) I want a book [to read]. 和訳: 私は読むための本がほしい。

「～するために」「～するための」という文型は、「不定詞」の問題練習をぜひたくさんしてみてくださいね。

特に「～するための」のほうは、「～する(ための)○○」「～するべき○○」など、
和訳が一定ではない(何となくぼんやりしている)ところがあって、とてもつかみづらい文法なので、
問題練習をぜひ！たくさん！してみてくださいね！！(←力が入る)

そして、英文全体を見て「これは不定詞の文だな♪」と推測できる推測力！
しっかり身につけられるように頑張れ～(≧▽≦)

===== おまけ情報 =====

その② ing 形になる例 でちょっと述べたとおり、
stop という動詞は、基本、「後ろに ing 形が来る動詞(enjoy, finish, stop)なんだけど、
「～するために立ち止まる」という意味になる時だけは、後ろに to + 動詞の原形 が来ます。

次の2つの文を比べてみてね。 ※ smoke = 「タバコを吸う」という意味の一般動詞
He stopped smoking. (彼はタバコを吸うことをやめた) → その② ing 形になる例
He stopped to smoke. (彼はタバコを吸うために立ち止まった) → その④ to + 動詞の原形になる例
↑この話をする時にすごくすごくよく出てくる例文。

stop の後ろの動詞が ing 形になるのか、to + 動詞の原形 になるのかは
その問題を見てみないとわからない(英文全体を見て判断する「推測力」…やっぱりね)ので、
問題練習の中で出会った時に、これはこっちだな…と、1つ1つ確認しておいてね。

=====

(3) 「～すること」という意味になる(なりそうな)時、to + 動詞の原形 を使う。

※ その② ing 形になる例 で解説したとおり、ing 形も「～すること」という意味になる時があるよ。